

おれんじニュース

No333

2017年12月

英彦山の紅葉

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
オレンジ物語	4
妙見山(雲仙)	5
水曜登山あれこれ	6
涌蓋山	7
熊群山	8
富士登山挑戦記	9
県連 50 周年記念	10
元気の出る集会	11
おれんじカレンダー	12

2017年	12月	1月	時間	場所
専門部会	12日(火)	9日(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	27日(水)	24日(水)	19:00~21:00	公民館

12月



部	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部	山行部
月/日(曜)	12/3(日)	12/10(日)	12/15(金)	12/16(土)
山名(行事)	天念寺、中山仙境	油山、荒平山	諫早十二支公園	貫山
地 図	香々地	福岡西南、南部	諫早	苅田、行橋
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅前バスセンター 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力1/技術2	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1
帰着時間	18:00	18:00	15:00	19:00
歩行時間	3.5h	3.5h	3.0h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	公共交通(バス)	マイクロバス
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	無し	無し	無し	?
参加費	5,000円	4,000円	交通費(自己負担)	4,000円
申込期限	11/30	12/3	12/12	12/2
集 約	山下ちず子	坂本	林 孝子	田村
備 考	たぶん紅葉が残っています。スリルとサスペンスと岩場の紅葉。	福岡市民の森で大変親しまれている山です。	1.緑豊の里(本野町) 2.赤岩名水広場(大場町) 3.青岩と観音の滝(御手水町)	カルスト大地平尾台北に位置する主峰。

2017年1月

部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部	技術研修部
月/日(曜)	1/7(日)	1/14(日)	1/26(金)	1/28(日)
山名(行事)	長崎七高山巡り	大津山、二城山	多良岳	三俣山
地 図	長崎南西部	南関	多良岳	湯坪、大船山
集合場所	長崎駅改札口 8:00	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅裏 9:10 西諫早駅 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力2/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1	体力2/技術2
帰着時間	17:00	17:00	15:00	19:30
歩行時間	7.0h	3.0h	3.0h	5.0h
交通手段	J R	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	無し	有り	無し	時間があれば
参加費	J R料金自己負担	5,000円	1,000円	5,000円
申込期限	12/28	1/7	1/20	1/23
集 約	田村	坂本	林 孝子	山下ちず子
備 考	新年恒例の一年間の安全祈願	山城&神社巡り。初詣もできます。	金泉寺でぜんざい会をします。	雪の九重を楽しみます。



事務局より

会員より山行に関して出ている要望について、以下のように運用し、来年の総会で正式決定をしたいと思えます。

(1) 各責任者

① **計画書の責任者 (CL)** : 計画した部の部長 (部長が不参加の場合は総責任者としての**見識と技量**のある者)

② **山行計画者** : 部内で依頼された者 (山行後報告書も作成し提出の要あり)。

③ **PL, SL** : 部内で決定された者 (教育を兼る場合もあり)。

(2) 山行の**中止**や各自の**キャンセル**は**遅滞なく確実に連絡**をして、お互いにその**確認**を行うこと。

(3) 山行計画者は山行計画・山行報告書・地図を必ず事務局と留守本部に提出すること。

*なお、リーダーに関し「おれんじニュース 2016年7月号 P4」を再読願います。

2. 永年会員 (20年) として2名の方が、日本勤労者山岳連盟より**荣誉功労賞**を授与されます。

田中 絃子さん **林 孝子**さん

県連便り

雪山登山学校

白銀輝く伯耆大山(1711m)へ

期 日 2018年2月9日(金)~2月12日(月)

目 的 雪山の基礎技術と登山技術の向上を目指す。



搬出訓練

期日 2018年1月20日(土)

日吉自然の家周辺



ドキュメント山の突然死 柏澄子著 山と溪谷社

登山者の高齢化に伴い、病気を原因とする山岳遭難が増加している。本書は心臓病、脳卒中など、症状が現われてから 24h 以内に死亡に至る「突然死」の事故例を丁寧に検証し、その危険因子を分析している。

「突然死」の背景にある生活習慣病と日常の健康管理、登山計画と行動の注意点、救命手当まで、致命的な病気による遭難を防ぐための方策を専門医の指導をもとに詳細に解説。

当クラブもこの真っ只中にある。自己管理は当然であるが、クラブとしても無理のないコースの設定や、会員の健康状態により、参加を控えていただかざるを得ない場合もあるであろう。

オレンジ物語



翼をひろげて

リーダーの不足、山行の足となる自家用車、ドライバーの不足、泊り山行の減少、全体集会や運営委員会への参加が少ないなど、さまざまな問題をかかえながらも、オレンジは1994年創立15周年をむかえました。このとき会員は50人。記念講演や祝賀会、記念Tシャツの作成などで、15周年を祝いました。活動が安定期にはいり、マイカー利用を止める工夫や、未知の山を意欲的にとりくむ動きがはじまりました。



トレッキングルート沿いの茶店で休憩



会員の結婚を祝う会で踊る、仲間達

岩田さんを中心に月1回の泊り山行、月2回になった「ひまわり」山行など、山行の充実は会議の出席率が高まる、新しい仲間がふえるなど相乗効果をあげてきています。

98年九重でひらかれた西日本女性交流集会には8名、99年の兵庫六甲には6名の女性が参加しました。1999年12月、オレンジは創立20周年をむかえました。記念講演、祝賀会、Tシャツにくわえ、ネパール・トレッキングと記念誌の発行が記念行事として企画されました。

20周年記念の祝賀会を私たちは、諫早市津水の公民館を借りて、手作りでおこないました。大勢の仲間から祝福され、にぎやかに楽しく、歌って踊って、20周年を喜びあいました。結成から20年、オレンジハイキングクラブは山と自然を求めて全国、世界へと翼をひろげてきました。そして仲間こそ、オレンジがもっとも大切にしている翼です。



記念Tシャツ



あれから40年「オレンジ物語」を終ります





2017/10/27(金)

妙見岳(雲仙)



行程 西諫早駅 8:00-8:15 諫早駅裏—9:40 仁田峠 9:55～
 10:58 ロープウェイ山頂駅～展望台～11:15 妙見岳神社～
 11:25 妙見岳～11:40 妙見岳神社(昼食)12:20～13:20
 紅葉茶屋 13:30～14:00 あざみ谷～14:45 仁田峠 14:53—
 温泉中止-16:00 西諫早駅

登山概要

- ※雲仙紅葉観賞登山はひまわり部員の体力に合わせて定番の妙見岳とあざみ谷をまわる単純コースとし、時間もたっぷりとした。妙見岳頂上へも崩落部に充分注意して登った。
- ※天気は快晴で気温も最適であった。今年は冷えが緩く、日照りも少なかった故か紅葉の色つきはイマイチと思ったが充分満足できた。
- ※妙見岳の中腹と紅葉茶屋で山座同定を、妙見岳から国見分かれ迄のコースで現在地の確認をするなど初歩的な地図読み勉強を行った。
- ※紅葉茶屋で学校行事として普賢岳から下山中の布津中学生と出会い若さと元氣をもらいながら薊谷を下った。
- ※一般参加者が連絡不十分で、当日参加できないアクシデントを生じた。PC メールからの申し込みであったため連絡メールで大丈夫と思っていたが、メールを開いて無く欠席。残念。電話も必要か？(お互い連絡不徹底)



福岡、兵庫、中里、川内
山口、中村、小山、下釜、

ちょっと感想

- *山の紅葉がとても綺麗で登山できる喜びと幸せが感じられたよ～
- *妙見岳を皮切りに紅葉のお鉢廻りを楽しむ幸せな1日でした。
- *絶好の天気！青い空に薄の穂が映えて皆さんの笑い声もあふれて楽しかったです。
- *秋晴れの良き日で山もほんのり色づき笑いもあり楽しい1日でした。





水曜登山アレコレ

水曜登山へどうぞ ～週一回は山へ行こう～

一回の山行の効果は一週間と少し、二週間明けるとゼロになります(元の黙阿弥ですね)。オレンジの例会山行は大体、土日で月4回。それも種々の用事で毎回参加は難しい。山で安定した力をつけるには週一回は山に登ってほしいと思って、3年前から水曜登山を始めました。その頃は他の会の同年代とくらべてあまり強くなかったのが、今は登りも下りも一番確かな足取りを見せています(実感です)。足取りが確かなのは力強く、事故も少ないということです。山を楽しみつつ健康を拾う、いいですね、多くの人に参加してもらいたいですね。(川原)

水曜登山のやり方は

1. 午前8時西諫早駅に集合します。
2. 当日登る山を全員で決定します。
3. 地図とコンパスで行程を話し合います(地図の読み方がわかりますよ)
4. 参加者により配車して出発です。



国見岳頂上

これまでに行った

多良山系のコース&山々

- 中山キャンプ場→経ガ岳
- 黒木→つげ尾→経ガ岳
- 黒木→八丁谷→金泉寺→多良岳
- 黒木→うなぎて沢→中山峠→経ガ岳
- 平谷→平谷越→経ガ岳
- 鳥甲→二合半→萱の大杉
- 黒木→舞岳→経ガ岳
- 水神様→仏の辻→五か原→中岳
- 轟峡→小松尾公園→金泉寺
- 北の河内→遠目山
- 黒木→つげ尾→経ガ岳→笹岳→西岳→金泉岳

多良山系以外の山々

- 井樋の尾岳、岩戸山、石割岳、御岳
- 高岩山→空照師→一夜大師
- 龍石神社→井樋の尾岳→飯盛岳
- 妙見岳→国見岳→国見東尾根→新道
- 風穴→普賢岳

常連さんの感想

- *身近な山にいっぱい登りました
- *朝は8時帰りは3時頃なので気が楽です
- *参加、不参加が自由なので融通がききます(急用ができてキャンセルの連絡が要りません)。
- *その時期にいちばん良いところに行ける(例、紅葉が一番きれいな時に雲仙に行きました)。
- *月例山行では行かないようなコースを選び、変化に富んでいます
- *とても訓練になり脚力がつきました。

ちなみに11月1日の水曜登山

雲仙の紅葉がきれいな時期だと思い雲仙の国見岳から東尾根を越えて新道の風穴に出ました。道は険しかったけど見事な紅葉にただただ歓声をあげました。



虎秋の涌蓋山縦走



2017/11/05
一目山～みそこぶし山～涌蓋山



参加者 坂口、鎗水、山下ち、小熊、松岡、松田堺、大久保、田村、田中静、工藤、福岡、吉川、乾、下釜、川原、高森

行程 諫早駅裏 6:20～西諫早駅 6:30～諫早 IC

～金立～八丁原登山口 9:50～一目山 10:10～みそこぶし山 11:15～分岐 11:20～涌蓋越 11:55～女岳 12:20(昼食) 12:40～涌蓋山山頂 13:00/13:15～女岳～涌蓋越～分岐 14:30～疥癬湯(ひぜんゆ) 下山口 14:35～温泉 15:00/15:40～西諫早駅 18:55

★ゆっくり班は分岐まで



一目山より阿蘇連山



どうだんツツジに包まれ



登山概要 ゆっくり班5人は分岐までとなり、後の12人は秋の草原の中を歩いた。一目山からは遠く阿蘇5岳、由布岳を臨んだ、みそこぶし山へのルートも平坦な道、視界良好、前方に涌蓋山、好天のせいか登山者も多い。涌蓋山山頂からは360度の眺望、九重連山が眼前に見られた。疥癬湯下山口までのスピードの速い事、さすがに元気なシニアパワーをみせて貰いました。とにかく晴天、山自体がなだらかで登りやすかった。

ちょっと感想

- * 紅葉の山が最高でした。ゆっくり班で綺麗な風景を見られ良かったです。
- * 山に酔い、差し入れの「真野鶴」に酔い、温泉につかり満足(笑)
- * 4年前、ひまわり山行で来たのと同じコースその時は女岳でリタイア、今回リベンジ出来て良かったです。
- * 九州で一番好きな山一目山、今は大満足。差し入れの酒大好きになる。
- * 雲仙とは違う美しさでした、7年前に行ってるが記憶がない、帰りの温泉の打たせ湯、最高な一日でした。



熊群山(800・4m) H29年11月11日

参加者 福岡 松岡 工藤 高森 乾 大久保 山下(ち) 米田

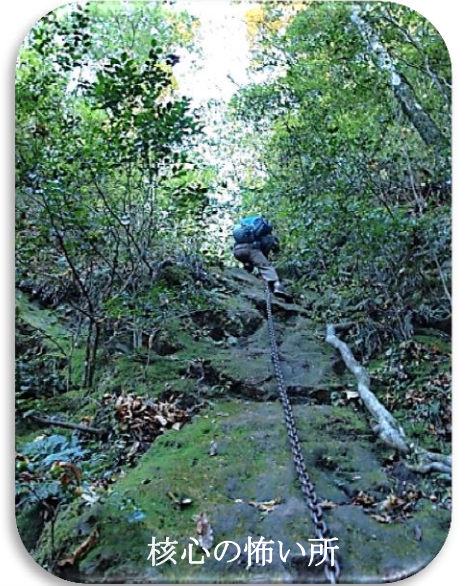
行程 6:35 西諫早駅-9:00 由布院 IC-R210-県道田野庄内線-溪泉峡バス停 10:15 登山口
-11:00 護摩殿-11:30 奥の院-12:20 頂上(昼食)下山-14:30 登山口-15:00 乙丸温泉 16:00
-由布院 IC-18:30 諫早 IC

概要

前夜の強風と雨が嘘の様に治まって、技研部としては久しぶり快晴の山行となりました。溪泉峡バス停が意外に見落としてやすく 10 分程度ロスはありましたが、後は下山まで計画通りの行程でした。

護摩殿の手前から長く急な石段(鬼の石段)を登り切って目の前に鎖場。慎重に一人ずつ時間をかけて無事クリアー。

山頂部分はテープを頼りに 三角点まで到達安全最優先で 14 時 30 分登山口に到着しました。



核心の怖い所



熊群山頂



熊野神社

ちょっと感想

- ※ 予想以上に、スリルのあった岩登りと、平坦な台地での歩行とのギャップ、歴史を神社び長い急な苔むした階段と控え目な紅葉もよくて面白くて快い山行でした。
- ※ 垂直の岩場を目前にすると不安に襲われましたが、上り下りをクリアーした時は心底ホッとしました。
- ※ 絶壁、急坂と緊張の連続で心身ともに疲れました。又、この山にのぼりたいとは思いませんでした。



見ざる登らず怖がらず



富士登山挑戦記

8/26～29 富士山にサポートして八合目まで登ってきました。

この挑戦の始まりは今年の10月からだった。

五島列島の福江島から更に離れた島に住む、あるご夫婦から「日本人だったら、世界遺産になった富士山に登ってみたい」と話しがあった。



登山の経験も高度の体験もなく年齢も七十才を過ぎていた。全てが一からの出発だった。

そのご夫婦の住む島は、せいぜい40～50m程の丘としか見えない隆起丘があるだけである。

早速、日々のトレーニングを開始。

時に、福江島でのトレーニング山行を行い、今年は5月に多良岳に初めて登った。その後、久住山も計画したが台風接近により中止となった。高度体験としては多良岳983mが最高地点のまま、本番の富士登山を迎える事になった。

富士登山口2400m、初めての高度体験である。新七合目小屋2790m泊。高山病らしき症状も現われず、これならまだ大丈夫だ。翌日もゆっくりと歩を進めるが、残念ながらご夫人は八合目3220mにて下山となった。ご主人は登頂を果たした。ご夫婦の初挑戦は終わった。 國分記





10/14

長崎県連 50周年記念祝賀会と 柏澄子女史の講演



長崎県勤労者山岳連盟は、1967年10月

22日に発足して2017年で創立50周年を迎えました。

山の知識・登山技術を学び、教え合い「安全・安心で楽しい登山」を地域社会に普及する活動を行ってきました。まだ若き登山者たちが夢と希望に向かって、苦労と努力を重ね、海外の名だたる山にも挑戦し、今日の県連を育ててきました。それから数十年、会員の多くが高齢化し、身体的に万全とは言い難くなりました。記念事業として、山岳ライターの柏澄子さんの講演は、それに警鐘を鳴らす正に時宜を得たものとなりました。



10/28.29 元気の出る集会 英彦山

参加者 川原、鎗水、松岡、山下ち、国分、大久保、工藤

行程

10月28日：9:00 西駅前～諫早 IC～日田 IC～R212～R496～R500
～12:20 福岡県立英彦山青年の家～

13:30 開会式～14:00 分科会 16:00～17:30 夕食～20:00 懇親会～23:00 就寝

10月29日：6:30 起床、台風の影響で本日の講座は中止となる～7:30 朝食～9:00
～英彦山の歴史スライド講座 10:00 福岡県立英彦山青年の家出発～R500～R52

～杷木 IC～諫早 IC～14:10 西駅前着(往復とも県連用意のマイクロバスに同乗・国分氏は自家用車で現地へ)



概要

10月28日(土)は曇り空の中、6月の豪雨災害を受けた通常ルート avoiding、英彦山へ向かった。途中の山越えルートでは、霧の中の紅葉を愛でながら県連の他部会の部員との会話を楽しんだ。バスの中での昼食をすましてしばらく小雨の中を走り、昼過ぎに青年の家に到着した。台風の接近によって、雨風が強くなってきたが、霧の中に突然現れた見事な紅葉に皆目を奪われ、歓喜の声をあげた。

午後より、開会式と5班に分かれて分科会が行われたが、各会とも内容的には少し物足りなかったとの印象を受けた。また、夕食後の懇親会も少量の酒類と質素なつまみ類で「宴もたけなわ」とはいかず、予想どおり各部屋にての小宴会が開かれ、各会入り乱れて会話が弾んだ。(酒・飲食物の持ち込み禁止のはずだが?・・・)



見事な紅葉



ちょっと感想

- ※10月の最後の登山ができず残念だった。
- ※素晴らしい紅葉も堪能できたが、台風には勝てず残念な元気の出る集会となった。
- ※みごとな紅葉に彩られた英彦山!しかし、台風の影響した氷雨の会場に封じ込められ、分科会での講演と各会の交流を行うのみとなった。私は、少年の頃のテリトリーである、久留米「みどる山の会」人と懐かしく話が弾んだ

秘密の部屋で
禁じられた遊び

おれんじカレンダー

12月			1月		
1	金		1	月	
2	土		2	火	
3	日	天念寺、中山仙境 (技術研修部)	3	水	
4	月		4	木	
5	火		5	金	
6	水	水曜登山(8:00 西駅)	6	土	
7	木		7	日	七高山巡り (山行部)
8	金		8	月	
9	土		9	火	専門部会(13:30~15:30)
10	日	油山、荒平山 (自然保護部)	10	水	水曜登山(8:00 西駅)
11	月		11	木	
12	火	専門部会(13:30~15:30)	12	金	
13	水	水曜登山(8:00 西駅)	13	土	
14	木		14	日	大津山&二城山 (自然保護部)
15	金	諫早十二支公園 (ひまわり部)	15	月	
16	土	貫山 (山行部)	16	火	
17	日		17	水	水曜登山(8:00 西駅)
18	月		18	木	
19	火		19	金	
20	水	水曜登山(8:00 西駅)	20	土	
21	木		21	日	
22	金		22	月	
23	土	コンパニオンレスキュー (9:30 西駅)	23	火	
24	日		24	水	水曜登山、全体集会 (19:00~21:00)
25	月		25	木	
26	火		26	金	多良岳 (ひまわり部)
27	水	水曜登山、全体集会 (19:00~21:00)	27	土	コンパニオンレスキュー (9:30 西駅)
28	木		28	日	三俣山 (技術研修部)
29	金		29	月	
30	土		30	火	
31	日		31	水	水曜登山(8:00 西駅)

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者 (兼編集委員)	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、工藤学、松岡正樹
発行年月日	2017/11/22
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com

**シロアリ
予防駆除**

安心! 5年間保証
・施工後も年に1回の無料点検
 ・最大5000万円の損害賠償保証付

床下点検・見積無料
キャンセルされても
 料金が発生すること
 は一切ございません。

シロアリ予防, 駆除・パソコン販売, 修理
 合同会社 まずは、お気軽にお問い合わせください。
三喜企画 0957-47-5988